

農家に伝わる冬仕事を体験し
郷土文化の継承について考えるワークショップ

その日に作って履いて帰れる！

草鞋づくり体験

わらじ

2024 1.28 SUN 10:00~15:00

参加費800円 定員20名
おにぎり昼食付き 先着順

小桜館 〒993-0085
山形県長井市高野町2丁目7-28



主催:アメフラシ / 共催:一般財団法人 文教の杜ながい / 協力:勸進代地区の皆様
お問合せ・申込み先:(一財)文教の杜ながい 電話:0238-88-4151

お申込み

講師紹介

Introducing the Teacher



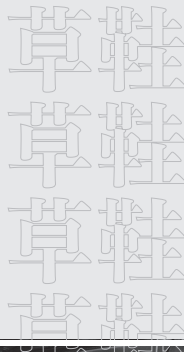
村上 滋郎 JIRO MURAKAMI

美術家 / アメフラシ代表
東北芸術工科大学洋画コース准教授



松崎 綾子 AYAKO MATSUZAKI

画家 / アメフラシ



アメフラシとは？

村上滋郎(美術家)、松崎綾子(画家)、池田将友(文筆家)、金東玉(デザイナー)の、長井市在住の4人をコアメンバーとしたアートコレクティブです。

それぞれが仕事を持ち、生活と創作活動のバランスを保ちながら地方が抱える社会問題を身近に感じ、アートとデザインが持つ力や表現の可能性を追求しています。

課題や問題の本質をじっくりと見定め、小さな答えを発信しています。草鞋づくりのワークショップは2016年から取り組んでいるプロジェクトの一環です。



アメフラシの草鞋プロジェクト

AMUFURASHI's WARAJI Project

“必要とする人が草鞋を編む”

黒獅子祭りで、獅子連が身につける伝統的な衣装に欠かせないのが『草鞋』です。しかし、草鞋づくりの担い手の減少、稲の品種改良、農業の機械化の影響により、伝統が失われつつあります。

2018年、西根地区勸進代地区の依頼で、草鞋づくりの映像化を行い、同時に作り方を図解した教材も制作しました。さらに、材料となる稲づくりから、草鞋づくり体験までのシステムを共に構築し、同地区の年配者と若者が“黒獅子祭りで草鞋を履きたい(履かせたい)”という同じ目的の下、次世代の子供たちも加わり、活動を行っています。

※映像作品は、下記QRコードよりご覧になれます。

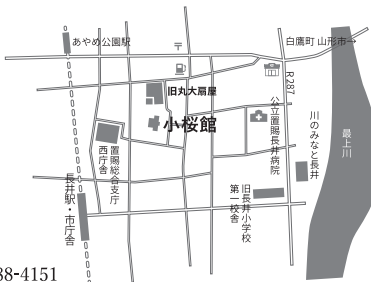
YouTube



草鞋をつくる



稲藁をつくる



お問合せ・申込み先：(一財)文教の杜ながい

〒993-0086 山形県長井市十日町1丁目11-7 電話：0238-88-4151